

国語科 中学校3年

単元名 古典を楽しむ
「夏草—おくのほそ道から—」
光村図書「国語3」

単元の流れ（全5時間）

【第1時】

主な学習内容

- ・学習の目標・計画にしたがって、見通しをもつ。
- ・「おくのほそ道」と芭蕉について便覧等で学ぶ。
- ・本文を朗読する。

冒頭文ワークシートは
こちら

【第2・3時】

主な学習内容

- ・「月日は百代…」の部分を読み取る。
- ・芭蕉の旅への思いを文章にする。

CLICK

「活用」の力育成のために

芭蕉の生き方や旅に対する思いを読み取り、文章にする。①

読み取りワークシートは
こちら

【第4時】

主な学習内容

- ・「三代の栄耀…」の部分を読み取る。
- ・平泉での「兵とも」に対する芭蕉の思いを読みとる。

CLICK

【第5時】（本時）

主な学習内容

- ・詩の一斉音読によって、言葉がもつイメージをかみしめる。
- ・俳句がもつイメージについて考える。
- ・「おくのほそ道」の俳句について、俳句の言葉、音などを手がかりに俳句のイメージをもつ。
- ・条件に従って、鑑賞文を書く

「活用」の力育成のために

感性を大切にしながら、それぞれの俳句が表している情景について、自分の意見を発表する。②③
自分が読み取った俳句の世界を、根拠を明らかにしながら、鑑賞文としてまとめる。④

単元目標

- 優れた表現を読み取りながら、人生や自然に対する作者のものの見方感じ方をとらえさせる。
- 文章や俳句に込められた作者の思いや情景を読み取る感性を養う。

単元構成の意図

- ・便覧などを活用した学習やワークシートを通して、作品や作者について、興味をもって学習する姿勢を作る。
- ・古典の文章や俳句を音読することで、漢文調の言い回しや対句表現など、作品がもつ表現の特徴を体感する。
- ・作品を読み取り、書かれている内容やリズムから感じられる情景を豊かにイメージする。
- ・学習したことを通して、作者の生き方や考え方をとらえ、整理する。
- ・俳句の言葉がもつイメージの豊かさを、鑑賞文にして表現し、発表することで、相互に深め合う。

「活用」の力を育てるポイント

- ①作品から読み取った作者の思いを、相手に伝わるように自分の言葉で表現する。
- ②俳句が表している情景をイメージし、どのようにイメージしたか、なぜそう感じたかを文章にし、発表し合う。
- ③他人の意見を聞いて、共通点や相違点に気づき、自分の考えを深める。
- ④条件に従って鑑賞文を書き、自分の考えをまとめる。

HOME

本時の流れへ